

事業番号	09 04 03	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	花き振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

1 現状と課題

- ・産地間競争の激化や輸入花きが増加する中で、本県特産花きの再生産を確保するため、市場販売価格が低迷した場合に生産者に価格差補てん金を交付し、経営の維持・継続を図る必要がある。
- ・県内花き生産量は、生産者の高齢化、他作目への転換等により、年々減少しているため、新規技術の導入により主要品目の生産力を強化するとともに、国内外の市場ニーズの高い品目の作付推進を行い、経営の安定化と県内花き生産量の維持・増加を図る必要がある。
- ・若年層を中心に花きの消費量は低い傾向であるため、将来的な消費者である若年層を中心に日常における花の購入・活用を促進し、花きの需要を創出する必要がある。

2 事業目的

- ・主要品目の生産振興、補完品目及び新品目の作付拡大により、生産者の所得向上をめざす。
- ・花き消費量の需要を掘り起こし、生産量の増加を図ることで、生産者の経営安定をめざす。

3 事業目的を達成するための取組

①生産者の経営安定を図るための資金造成

- ・主要花き6品目の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金を造成



②花きの生産力強化と花の魅力発信・日常生活への浸透の促進

- ・主要・補完・新品目の生産力強化のため、国内外のニーズに応える生産体制を整え、「売れる」商品づくりを目指す産地を支援
- ・イベントでの継続的なプロモーション活動や若年層を対象とした花育教室を開催

社会人向け花育教室
(信毎メディアガーデン)

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし –: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	特産花き生産出荷資金造成事業加入団体数	団体	14	14	→		14	→	14	↙	花き生産者の経営安定を図るため、事業に加入している団体数を目標とする。
②	一世帯当たり切り花購入金額	円	7,463	9,260	↗		9,260	→	7,590	↙	一世帯当たりの切り花購入額について、新型コロナウイルス感染症発生前の水準を5%上回る金額を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況			目標				
				年/年度	数値	年/年度					
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	8,515		8,515	4,215		1.5
	要求	8,515		8,515	4,215		
R7年度	0	8,515	0	8,515	4,215		1.5
R6年度	0	8,515	0	8,515	4,215	8,288	1.5
要求からの 主な変更点	要求どおり						

事業番号	09 04 03	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	花き振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	特産花き生産出荷安定資金造成事業	8,100 千円	8,100 千円	予算案 8,100 要求 8,100 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特産花き生産出荷安定資金造成事業	補助金	主要花き（キク、カーネーション、トルコギキョウ、リンドウ、アルストロメリア）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助 6品目に対する資金造成 8,100千円	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	信州花き生産力強化事業	415 千円	415 千円	予算案 415 要求 415 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県主要品目の生産力強化	直接	主要品目の収量増加及び品質向上のために、産地での高温対策や病害対策技術等の実証試験を実施 実証試験：2か所	
2	ニーズの高い品目・品種や新規品目の検討及び推進	直接	生産者の経営安定を図るため、市場、生産者団体等と連携したニーズの高い品目や品種の選定検討会や市場調査を実施 検討会：2回	
3	「花のある暮らし」の推進	直接	・若年層への需要拡大、花文化の定着を図るため、小中学校や社会人向けの花育教室を開催 ・県産花きを県内外の消費者へPRするため、公共施設やイベントで花きを展示 花育教室実施：9回、公共施設等での展示：2か所	